

ひとにやさしい

まちづくりニュース

Vol. 2 [H21.2]

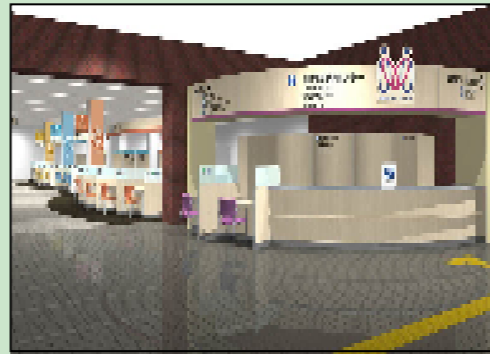
福岡県ひとにやさしいまちづくり協議会 発行

- 掲載記事一覧
1. 取り組みの紹介
 2. ひとにやさしいまちづくり講演会のご案内
 3. ひとにやさしいまちづくり活動の紹介

1. 取り組みの紹介

大野城市の取り組み

すべての人に快適でやさしい窓口をテーマに総合窓口「まどかフロア」を平成20年度に開設しました。車いす使用者に配慮したカウンター、わかりやすいサイン、キッズコーナーなどを設置することにより、「わかりやすく、使いやすく、心地よく、手続きが終わる」日本一利便性の高い窓口サービスの提供を目指しています。



イオンモール筑紫野の取り組み

平成20年度に、福岡県福祉のまちづくり条例に定めた「望ましい基準」に適合した建築物で、バリアフリー法の認定も取得しています。通路、案内標示、エレベーターなどすべての人に分かりやすく使いやすい施設づくりに取り組んでいます。

※「望ましい基準」とは、遵守規定の「整備基準」より高い水準での取り組みを期待して設定した基準です。



福岡県（障害者福祉課）の取り組み

車いす使用者用駐車施設の適正利用などについて、「みんなで描こう！住みよいくおか」という普及啓発用のリーフレットを作成しています。

電子データは、福岡県ホームページ (<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/b03/sumiyoifukuoka.html>) に掲載していますので、ご活用下さい。



2.ひとにやさしいまちづくり講演会のご案内

視環境とユニバーサルデザイン

— 超高齢社会における空間づくりを考える —

超高齢社会を迎え、加齢に伴う視機能の低下や白内障、緑内障、網膜症などにより、ものが見えにくく社会生活に不便さや困難さを訴えるロービジョン者が益々増えると言われており、これらの人々への対応が今後の課題とも言われています。

そこで今回は、これらのものが見にくいロービジョン者の見え方の特徴から建築空間での配慮ポイント、デザインによる解決方法とその事例の紹介やユニバーサルデザインの考え方に基づいたバリアフリー化を行った先進的事例の取り組みをご紹介します。

| | |
|------|---|
| 開催日 | 平成21年3月13日(金) |
| 開催時間 | 14時～16時 / 開場 13時30分 |
| 講師 | 鹿島建設株式会社 建築設計本部 品質技術管理統括グループ 環境・性能グループ チーフ 一級建築士 原 利明 氏 |
| 会場 | ホテルレガロ福岡 レガロホールA |
| 参加費 | 無料/定員 150名 (要申込み) |



申込み手続き

(1) 申込期限：平成21年3月12日(木曜日)
(定員に達し次第、締め切らせていただきます。なお、申込多数により受講できない場合には、ご連絡させていただきます。)

(2) 申込方法：①インターネットで申込み

福岡県ホームページ (<http://www.pref.fukuoka.lg.jp/>) の左側にある「県への申請・様式ダウンロード」から申込みください。

※携帯電話からの申込みの場合は、左のQRコードを読み込んでください。

②電話で申込み

問い合わせ先にお電話下さい。



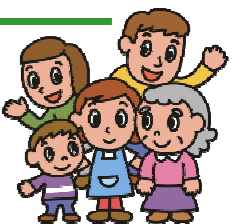
問い合わせ先

福岡県ひとにやさしいまちづくり協議会

(事務局：福岡県建築都市部建築指導課)

〒812-8577 福岡市博多区東公園7番7号

TEL:092-643-3720 FAX:092-643-3754



※情報提供のためにいろいろな情報を求めています。

ひとにやさしいまちづくり活動等がありましたら、上記問い合わせ先までお知らせ下さい。

3. ひとにやさしいまちづくり活動の紹介

建築物等のバリアフリーのまちづくり以外に、高齢者・障害者等に対する人的サポートや心のバリアフリーを進める活動の「ひとにやさしいまちづくり活動」（以下「ひとやさ活動」）について紹介します。

今回紹介する「ひとやさ活動」は、視覚障害者の方の外出の手伝いをしている

「ガイドボランティアサークル風車」の活動です。

まず、会員の方にどのような活動をおこなっているか、お聞きしました。

活動

「ガイドボランティアサークル風車」は、視覚障害者の方の社会参加を促進するために、**外出時の歩行の介助**を行っています。行き先は、私達が通常出かけたと思う場所で、買い物・旅行・友人のお見舞いなどです。

依頼を希望する際は、下記の問い合わせ先まで事前にご連絡下さい。

ガイドを行う当日、会員は、依頼者の自宅または待ち合わせ場所まで出向いていき、目的地まで行動を共にします。その後、用事が終わると、出発点までお送りして終了となります。

費用は、会員の自宅から待ち合わせ場所までの往復の交通費と、同行の際の介助者としての交通費となっています。

その他に「福岡市政だよりによるガイドボランティア募集記事の応募者に対する養成講座の支援」や「福岡市等のイベントでの一般市民へのアイマスク体験指導」など様々な活動を行っています。

私たちの活動によって、より多くの視覚障害者の方が社会参加出来るようになることを望んでいます。現在、ガイド活動をしている全国の各民間団体と連携をとり、視覚障害者の「ひとり旅の支援」を行っています。今後は、他の地域にもこの活動を伝え、各地へ一人旅が出来るようにすすめていきたいと思っています。



依頼者のガイドの様子



会員の研修を兼ねた博物館見学の様子



天拝山登山の下山手引きの様子

問い合わせ先

「福岡市社会福祉協議会ボランティアセンター」

TEL : 092-713-0777 FAX : 092-713-0778

E-mail : info@fukuoka-vc.or.jp

白杖や視覚障害者用床材って??

白杖とは

視覚障害者用床材や障害物などを確認しながら、安全に歩くための目や手の役割をしています。

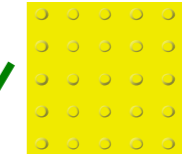
また、同時に周りの人に（目が不自由な事を伝えて）注意を呼びかけるものです。



視覚障害者用床材とは

注意を促す「点状ブロック」と、歩く方向を示す「線状ブロック」があります。

また、弱視の人の誘導の手助けにもなるため、黄色などの分かりやすい色となっています。



点状ブロック



線状ブロック

次に、視覚障害者の方と行動を共にすることが多い会員の方に、「まちづくり」や「こころのバリアフリー」について、日頃気づきになったことをお聞きしました。

まちづくり

●まちづくりを行う方は、障害を持つ方も出来るだけ自分の力で行動したいという気持ちがあることを理解して設計をお願いします。

●点字や音声等による案内板の設置をお願いします。

出来るだけ自分一人で目的の部屋・トイレ・階段・非常口などに行けることを望んでいるため、建物の全体像が把握できる案内板の設置をお願いいたします。

また、1階と2階でトイレの位置が違うなど、階で計画が異なると、混乱が生じるため、出来るだけそのようなことは避けてほしいと思います。

●視覚障害者用床材が摩耗していたり、途中で切れていたりしていると、とても危険ですので、設置後の維持管理をお願いします。

こころのバリアフリー

●視覚障害者用床材の上に、自転車や看板などの障害物は置いていませんか？

視覚障害者用床材が普及してきましたが、その上に自転車を止めたり、立ち話をしている人もいて、とても危険です。視覚障害者用床材が設置されている目的を再認識してほしいです。

●ちゃんと前を向いて、周囲に気を配って歩いていますか？

携帯電話をしながら前を見ないで歩いている人とぶつかることもあります。たとえ気づいたとしても、道を譲ったり、よけてくれない場合もあります。その他に、自転車が歩道を通る場合、警笛を鳴らさずに後ろから走って来て白杖を巻き込むといった事故が実際に起こっています。

●最後に

駅・横断歩道など危険な所を、白杖を持ち一人で不安そうに歩いている方を見かけたら「お手伝いしましょうか？」と声掛けをしてください。「大丈夫です。結構です。」と断られる方もいますが、そんな時はめげずに「どうぞお気をつけて。」と声をかけてください。